

特集

All About Epilepsy

企画 本誌編集委員会

てんかん治療の基本は薬物療法であるが、20～40%の割合で存在するとされる薬剤抵抗例では外科治療が必要になる場合もある。また小児や高齢者のてんかんでは成人例と臨床的特徴が異なる点も多い。このようにてんかんの病態は多様であり、診断の多くは問診を手がかりとしているため、正確な診断や分類は容易ではない。そうしたことから、てんかん診療には脳神経内科-脳神経外科-精神科-小児科を横断した学際的な知見が求められる。てんかん診療のエッセンスを凝縮した本特集で包括的な視点をアップデートしてほしい。